



令和7年度 現地検討会等実施状況 (治山技術の向上)




3	国有林	66
	都道府県	19
	市町村	16
	森林組合	0
	林業事業体（森林組合を除く）	0
	研究機関	1
	他省庁	0
	その他	8
	合計	110

110

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	特に効率的な施業を推進する森林の有無（国有林）	出席者	目的	内容	写真
防風保安林の効果と管理方法に関する現地検討会	7月30日	主催：東部森林室 協力：網走南部森林管理署	●斜里町役場大会議室・町有林 ●清里町（清里国有林1110林班）	国有林	14名	防風保安林については、指定施業要件により伐採方法などの基準が定められていることから、市町村職員などの専門的な技術・知識の向上を目的として研修会および現地検討会を開催。これにより、適切な施業方法の習得を図るとともに、情報交換を通じて技術力の向上を促す。	午前は、斜里町役場大会議室において、林産試験場の速水主査による室内研修（講話）を実施した。 午後は、斜里町町有林50林班180小班および国有林1110林班わ小班において現地検討を行った。	 <p>講話の様子</p>  <p>現地検討の様子</p>
				都道府県	19名			
				市町村	16名			
				森林組合	名			
				林業事業体（森林組合を除く）	名			
				研究機関	1名			
				他省庁	名			
				その他	名			
				合計	50名			

令和7年度 現地検討会等実施状況

(治山技術の向上)

令和7年度 ICT活用工事勉強会	9月29日	主催：北海道森林管理局 調査官 治山課 森林整備第二課 協力：岩倉建設株式会社	●胆振東部森林管理署会議室 ●苫小牧市（樽前国有林293林班ほか）	国有林	39名	森林土木事業においては、担い手確保が喫緊の課題となっており、事業体の現場管理の効率化、生産性向上を図るためICT化を進めていくことが重要となっている。 職員においても監督職員事務等で関わりがあることから、職員の技術研鑽、知識習熟に資するため、勉強会を実施。	胆振東部署発注で現在施工中の樽前山（熊ノ沢）地域防災対策総合治山事業において、請負者の岩倉建設株式会社が施工に用いているICT技術について、現地にてデモンストレーションを含めて説明いただいた。 更に、岩倉建設株式会社において、他工事等で実施している事例、これまでの知見等についても情報提供いただいた。	 岩倉建設株式会社による情報提供
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業体（森林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				他省庁	名			
				その他	8名			
				合計	47名			
令和7年度 治山勉強会	10月20日～22日	北海道森林管理局 治山課	●函館事務所会議室 ●木古内町（よびたらし国有林3153林班ほか）	国有林	13名	気候変動に伴い集中豪雨の発生が多発化する中、山地災害の増加や激化が懸念され、被害報告から災害復旧までを迅速に対応する必要がある。 このような状況を踏まえ、大規模豪雨災害への対応訓練及び山間奥地での法面工法となりえる一例の紹介等を行うことにより、治山担当者の知識向上と自己啓発を図る。	現地、座学にて災害調査訓練を実施した。 法枠工が施工困難な奥地で代替工法となりえる表層法面工法について説明を受け、施工予定地の現地見学及びコスト比較等を行った。 CAD操作方法について説明を行った。	 災害調査訓練の様子①
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業体（森林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				他省庁	名			
				その他	名			
				合計	13名			
						 災害調査訓練の様子②		